

第7回日本陸水学会北海道支部大会

日時:2004年12月17日(金)

発表会15:30~18:30, 総会・懇親会19:00~

場所:発表会 北海道大学農学部多目的室(本館裏の新館1階)

懇親会 口福(こうふく)北7条西7丁目6-9(クラーク会館裏手)

tel. 011-756-1147: 会費3000円程度

<プログラム>

*発表時間は質疑応答を含む

15:30~15:40 開会の挨拶 支部会長・橘 治国

15:40~16:00 1. 閉鎖性汽水湖における貧酸素水塊形成の機構 —北海道・サロマ湖—

*菅林恵太(北大・理)・福山龍次(道環境セ)・知北和久(北大・理)

16:00~16:20 2. 豊平川流域におけるヒ素化合物の動態

*渡辺 楓・和泉充剛・辰巳健一・橘 治国(北大・工)石川 清(北海道漁連)

16:20~16:40 3. 多雪山地流域におけるCl収支

*山崎 学・石井吉之(北大低温研)

16:40~17:00 4. アイスシェルターにおける貯氷タンクの適正規模について

—各地の気温と製氷モデルによる検討—

*木村賢人・浦野慎一(北大・農)

17:00~17:20 5. 鳴き砂(Musical sand)の生成について(序報)

*小林則彦(道立苫小牧工業高校)知北和久(北大・理)

17:20~17:30 — 休憩 —

17:30~17:50 6. 倶多楽湖における水質と一次生産

*脇 聡一郎(北大・工)古里栄一((有)日本水理研究所)

福島智彦(日立プラント)深沢達矢・橘 治国(北大・工)

17:50~18:10 7. 地球温暖化によるヒマラヤ氷河湖の拡大機構: 観測とモデリング

*知北和久(北大・理)

18:10~18:30 8. 達古武沼からの分離株を例としたラン藻の形態的分類と遺伝子解析

*高野敬志(道衛生研)日野修次(山形大・理)三上英敏・石川 靖(道環境セ)

五十嵐聖貴(国立環境研)